

徳地森の子くらぶ①

～徳地で自然を感じよう～

〈令和3年7月10日（土）～11日（日）〉

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】23名（男子12名、女子11名）、法人ボランティア4名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 はじまりの会
- 11:30 みんなで仲良くなろう
- 13:15 徳地の森を探検しよう
- 18:30 竹で食器をつくろう
- 20:20 入浴
- 21:30 就寝

2日目

- 7:50 ラジオ体操をしよう
- 9:30 アウトドアクッキング
- 14:00 さよならの会
- 14:15 解散

「はじまりの会」



多くの参加者は、初めてのキャンプで戸惑いも多く、会が始まる前は、緊張している様子だった。みんなで仲良くなる時間では、自己紹介を取り入れながら、遊びを行うことで、徐々に参加者の緊張がほぐれていった。

「竹で食器をつくろう」



「竹で食器をつくろう」の活動では、竹の性質やナタ、ナイフの使い方を学ぶことができていた。仕上げる作業では、紙やすりで食器がすべすべになる加工をすすめていくうちに、My食器への愛着がわいている様子が見られた。

「徳地の森を探検しよう」



「徳地の森を探検しよう」では、iPadを活用し「森の子ビンゴ」を行った。「黄色い花」や「大きな木の下で集合写真」などの課題が記載してあるビンゴシートをiPad上で共有し、その課題にあった写真や動画を撮るという活動を班で協力しながら行なった。各学校でもICT機器の導入が進んでいることもあり、参加者はiPadを上手に使うことができていた。



班で協力しながら、ビンゴシートを完成させるために、お互いの写真や動画を撮る活動は参加者同士がコミュニケーションをとる有効な手段であった。また、活動終了後に各班の完成したビンゴシートを確認しあうことは、徳地の自然について知ることもつながった。

「アウトドアクッキング」



「アウトドアクッキング」では、竹飯ごうを作って、炊き込みご飯と豚汁を調理した。参加者は竹飯ごうを火にかける様子から、竹は多く水分を含んでいることを学ぶことができた。炊き込みご飯は上手に炊き上がらない班もあったが、前日に作成したMy食器を使って笑顔で食べていた。

【参加者の声】

「友達ができて楽しかった」「自然のもので作る食器やご飯づくりが楽しかった」「普段できないような体験や自然に触れ合うことができた」等の感想があった。

【成果】

アンケートの結果では参加者全員が満足・やや満足と回答があった。班で協力してiPadを使いながら自然を散策したことは参加者にとって自然を感じる機会となった。さよならの会では「みんなと一緒に協力してごはんを作ることが楽しかった」と発表する児童の姿が見られた。

【課題】

アウトドアクッキングの竹飯ごうでは、火の調整が難しく、上手にご飯が炊き上がらない班があった。薪を燃やして直火をあてるのではなく、炭火で調理するなどして、均一に熱が伝わるように工夫する必要がある。